

記入例

別紙【ばい煙】

排出ガス量等の減少計画

項目		区分	工場又は事業場全体	施設毎の内訳			
排出ガス量等を減少しようとするばい煙発生施設の種類の欄				発電ボイラー	石灰キルン	廃棄物焼却炉	
上記ばい煙発生施設の工場又は事業場における施設番号				001	002	003	
最大排出ガス量(又は窒素酸化物量)(Nm ³ /h)			147,000	130,000	8,000	9,000	
通常排出ガス量(又は窒素酸化物量)(Nm ³ /h)			124,000	110,000	7,000	7,000	
原燃料の種類及び1時間当たりの使用量(通常時)				黒液 20,000	C重油 400	廃棄物 900	
緊急時における排出ガス量等減少計画の内容	第一次計画	情報	削減する原燃料の種類及びその割合又は窒素酸化物対策の種類及び減少する窒素酸化物量(%)	黒液 5,000 (25.0%)	C重油 400	廃棄物 900	
		情報	その他()				
		情報	減少する排出ガス量(又は窒素酸化物量)(Nm ³ /h)及び通常排出ガス量(又は窒素酸化物量)に対するその割合(%)	28,000 (22.6%)	14,000 (12.7%)	7,000 (100%)	7,000 (100%)
	第二次計画	注意	削減する原燃料の種類及びその割合又は窒素酸化物対策の種類及び減少する窒素酸化物量(%)	黒液 5,000 (25.0%)	C重油 400	廃棄物 900	
		注意	その他()				
		注意	減少する排出ガス量(又は窒素酸化物量)(Nm ³ /h)及び通常排出ガス量(又は窒素酸化物量)に対するその割合(%)	28,000 (22.6%)	14,000 (12.7%)	7,000 (100%)	7,000 (100%)
	第三次計画	警報	削減する原燃料の種類及びその割合又は窒素酸化物対策の種類及び減少する窒素酸化物量(%)	黒液 5,500 (27.5%)	C重油 400	廃棄物 900	
		警報	その他()				
		警報	減少する排出ガス量(又は窒素酸化物量)(Nm ³ /h)及び通常排出ガス量(又は窒素酸化物量)に対するその割合(%)	50,468 (40.7%)	36,468 (33.2%)	7,000 (100%)	7,000 (100%)

注) 1 排出ガス量等を減少しようとするばい煙発生施設の種類の欄には、緊急時に操業短縮する施設名(各種加熱炉、焼結炉、廃棄物焼却炉、ボイラー等)を施設毎に記入し、排出ガス量等を減少しない施設はまとめて最後の欄に記入すること。

2 緊急時における排出ガス量等減少計画の内容の欄における「その他」には、原燃料の使用量の削減及び窒素酸化物対策以外の排出ガス量減少措置方法について具体的に記入すること。

3 窒素酸化物量による減少措置を講じる場合は、排出ガス量(SPM用)及び窒素酸化物量(Ox, NO₂用)の2部に分けて提出すること。